

(17) 自主防災リーダー養成講座

坂本麻衣子

地域の防災力向上の推進役となるリーダー養成の必要性は言をまたない。防災士制度は阪神大震災の際の教訓を受けて、自助・共助・公助の連携を促進し、災害時はもちろん平常時においても地域の防災力向上のために活動する地域住民の養成を目的に整備された制度である。定められたカリキュラム、実技を経て試験に合格すれば、防災士の資格（日本防災市機構による民間資格）が授与される。災害時や日常時に、災害に対する備えを十分かつ的確に実施することは容易なことではない。特に、災害時には思い込みのようなものに行動を左右され、被害がより大きくなることも少なくない。したがって、防災のリーダーとなるためには、十分な意識・知識・技能が必要となる。

長崎県および長崎市では、このような防災の中心となる地域の人材の育成を目標に、本年度、長崎県防災推進員(自主防災リーダー)養成講座、長崎市民リーダー養成講座を催した。

長崎県危機管理防災課主催の講座は10月14日(水)~10月16日(金)佐世保市にて、11月14日(土)~11月16日(月)長崎市にて開かれ、3日間の研修プログラムを経た後に防災資格取得試験を受験するというものであった。講座を修了すると知事名の修了書が付与され、さらに防災士試験受験資格が与えられる。通常、防災士資格認定のために要されるカリキュラムを受講するには費用を負担する必要があるが、養成講座は無料であるため、防災士制度の敷居を低くするという効果もあったと考えられる。講師陣は防災の分野における著名な方々で構成され、本センターからは高橋和雄教授が『気象災害（土砂災害）』について講義を行った。

長崎市総務部防災危機管理室主催の長崎市民防災リーダー養成講座は10月25日（日）、12月20日（日）の2回に渡って実施された。各回はそれぞれ、①風水害や土砂災害の実態などの防災知識に関する座学、②災害弱者などの搬送、ロープ技術、救急法などの実技によって構成され、修了後は市長名の認定証が付与された。本センターからは、坂本麻衣子准教授が「防災マップの作成方法」について、また、本学工学部からは杉本智史助教が「土砂災害のしくみ」について、鈴木誠二助教が「河川災害のしくみ」について講義を行った。防災士制度との明示的な連携はなかったが、市内での防災士に係る講習会のよびかけがなされるなど、カリキュラムの構成を含め、防災士を念頭においた養成講座であった。

長崎市の養成講座においては、座学は地元の大学教員や市の職員が担当し、実技に関しては消防局や日赤支部の指導員が指導した。地域密着型であり、翌年度も同様の講座を年に2回行っていくということで、今後、市民防災リーダーも養成講座の運営に携わるような好循環が生まれれば、市民の防災力もおのずと高まっていくと考えられる。そのためには、市民防災リーダーとして認定され、一定の知識を有して地域防災リーダーとなった人々の中に芽生えた危機管理意識の芽を産官学かつ地域ぐるみでいかに育てていくかについても、徐々に議論されていく必要があるだろう。いずれにせよ、良いスタートが切れていると言っても過言ではないと思われる。



長崎県防災推進員(自主防災リーダー)

養成講座 受講者募集！！

長崎県では、長崎大水害(昭和 57 年)や雲仙普賢岳噴火災害(平成 2 年～平成 7 年)などにより大きな被害を受けていますが、毎年のように発生する集中豪雨、台風などによる災害に備える必要があります。

また、いつでもどこでも起こりうる地震災害についての備えを行っておくことも必要です。

阪神・淡路大震災等、近年の地震の経験から、地域の人の命は地域の人で守る体制をつくるのが重要であると言われています。

本講座を受講し、防災に関する知識・技術を身につけ、地域や職場の「防災力」の向上に貢献しましょう。

「長崎県防災推進員(自主防災リーダー)養成講座」開講のご案内

○開講日・開催地：

10月14日(水)～10月16日(金) 佐世保市

11月14日(土)～11月16日(月) 長崎市

(3日間とも講義は 10:00 開始の予定です。)

○受講料：無料

(ただし、防災士資格試験を受講される方は、受験料が必要です。)

○受講対象：自主防災組織のリーダー、防災ボランティア、民間企業の防災責任者など地域・職場の防災の担い手やそれをめざす方で、長崎県内在住または在勤の者

○募集人員：各回とも約 50 名(申込者が定員を超えた場合は、①活動歴②居住地③年齢等を考慮して決定します。)

○修了証：講座を修了された方には知事名の修了証が授与されます。

さらに、日本防災士機構が認定する防災士の受験資格が付与されます。

○資格試験：本講座を 3 日間受講し、かつ、受講決定通知書に同封する「防災士教本(日本防災士機構発行)」による事前学習を行い、レポートを提出した方は、3 日目に実施される防災士資格取得試験を受講できることとします。

○申込方法：別紙「参加申込書」により、郵送、ファックス又は電子メールで申し込んでください。

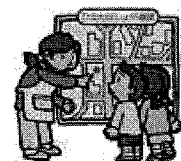
○申込期間：平成 21 年 8 月 3 日(月)～平成 21 年 9 月 28 日(月) 必着

○受講決定：10 月 5 日(月)頃までに郵便でご連絡します。

○申込先：〒850-8570 長崎市江戸町 2-13 長崎県危機管理防災課

(電話:095-895-2143 FAX: 095-821-9202)

(電子メール: s27100@pref.nagasaki.lg.jp) (担当: 西岡)



長崎県防災推進員養成講座 会場研修予定プログラム

平成 21 年 10 月 14 日(水)～平成 21 年 10 月 16 日(金) 佐世保市

	(1 日 目)	(2 日 目)	(3 日 目)
0 時限	(9:30～9:50) オリエンテーション 〈挨拶〉	防災ビデオ上映	(9:10～10:10) 救急講習〈消防局〉
1 時限	(10:00～10:50) 地震のしくみと被害 〈清水 洋講師〉	(10:00～11:00) 災害情報と避難 〈片田敏孝講師〉	(10:20～11:20) 災害と報道 〈植田禎子講師〉
2 時限	(11:00～11:50) 火山のしくみと被害 〈清水 洋講師〉	(11:10～12:10) 地域での実際の取組事例 〈片田敏孝講師〉	(11:30～12:30) 防災と福祉の連携 〈扇山治彦講師〉
3 時限	(13:00～14:20) 気象災害(土砂災害) 〈高橋和雄講師〉	(13:30～16:30) 災害図上訓練(DIG) 〈瀧本浩一講師〉	(13:30～14:30) 住まいの耐震化 〈池田浩敬講師〉
4 時限	(14:30～15:30) 近年の災害に学ぶ 〈伊藤和明講師〉		(14:40～15:40) 防災とまちづくり 〈池田浩敬講師〉
5 時限	(15:40～16:40) 災害史に学ぶ 〈伊藤和明講師〉		(15:50～16:50) 防災士資格取得試験

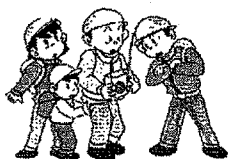
◎上記の時間割は、講師の公務、交通事情、災害の発生等により変更することがあります。

●予定講師陣

池田 浩敬 (富士常葉大学環境防災学部 教授)
 伊藤 和明 (防災情報機構NPO法人会長、元NHK解説委員)
 扇山 治彦 (諫早市社会福祉協議会 福祉活動専門員)
 片田 敏孝 (群馬大学大学院工学研究科 教授)
 清水 洋 (九州大学大学院理学研究院附属地震火山観測研究センター 教授)
 高橋 和雄 (長崎大学工学部 教授)
 瀧本 浩一 (山口大学工学部 准教授)
 植田 禎子 (株式会社テレビ長崎 記者)

◎ 五十音順。敬称略。

長崎版防災士「市民防災リーダー」養成講習



受講者を募集します！！



昭和57年の長崎大水害、平成3年の台風19号災害など、過去の災害教訓を踏まえ、大規模災害に備えて、地域を守り、減災を図るため、地域の防災力の推進役となるリーダーを養成します。

この方を「市民防災リーダー」と位置づけ、地域や自治会の中で、活動してもらうことにより、地域の防災力を向上させ、「自分の地域はみんなで守る」という、災害に強いまちづくりを目指しましょう。

「市民防災リーダー」養成講座

1 日時

日程	平成21年10月25日(日)及び12月20日(日)の2日間受講
時間	両日とも9時から17時まで 普通救急講習修了者は12月20日の午前の研修は免除となります。
人員	50人(応募者多数の場合は、次回をご案内します。)
場所	長崎市興善町3-1 長崎市消防局講堂 (中央消防署の5階)
受講料	受講料は無料です。

2 受講対象

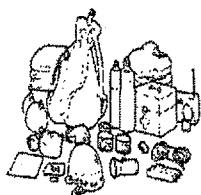
- ・受講を希望される方で、将来、地域や自治会で防災の推進役として活躍して頂ける方
- ・地域、自治会長、自主防災組織から推薦を受けた方
- ・長崎市在住者及び市内に勤めている方で、事業所や各団体から推薦を受けた方

3 修了証

2日間の受講後、長崎市長から市民防災リーダーとしての認定証が交付されます。また、普通救命講習修了証も交付されます。

4 申込み方法

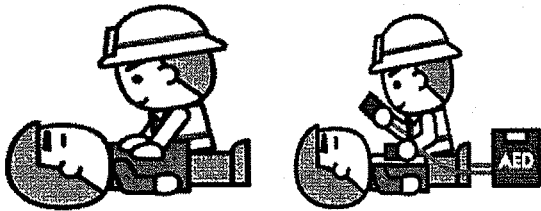
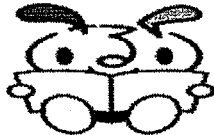
別紙「講習受講申請書」により、ファックスまたは郵送で10月18日(金)まで申し込んでください。



申し込み・問い合わせ先
長崎市興善町3-1(消防局庁舎6階)
長崎市総務部防災危機管理室
問い合わせ 電話番号 822-0480
申込み送付 FAX番号 820-0108



「市民防災リーダー」養成講習 カリキュラム

時 間	10月25日(日)	12月20日(日)
9時～10時	市民防災リーダーの役割と本市の防災体制（長崎市防災危機管理室）	普通救命講習（長崎市消防局）
	市民防災リーダーの役割や、長崎大水害以降の防災体制の取り組みや、現在の避難所等の状況を確認します。	心肺停止状態に行う心臓マッサージや骨折や出血時の応急手当てを学びます。AEDの使用方法も修得できます。修了後は、普通救命講習修了証が交付されます。
10時～12時	災害のしくみと対策（長崎大学）	
	近年の水害や土砂災害、台風災害からその仕組みを学び、被害を軽減する方法について学びます。 	
13時～14時	気象と災害（長崎海洋气象台） 大雨、台風、土砂災害情報などの気象と災害の関係を学びます。	福祉と防災の連携（長崎市高齢者すこやか支援課） 高齢者等で避難行動をとることが、困難な方の避難支援方法を学びます。
14時～15時	防災体験（長崎市消防局・防災体験ひろば）	災害とボランティア（長崎市市民協働推進室）
	消火器の取り扱いの方法や煙避難、暴風を体験します。	ボランティアの活動体験から、ボランティア方法などを学びます。
15時～16時	搬送方法、簡易水防工法（長崎市防災危機管理室）	防災マップの作成方法（長崎市防災危機管理室）
	毛布や物干し竿を使った簡易担架の作成方法、身の回りのものを使った搬送方法や水防工法を学びます。	自分の地域の危険箇所や避難経路、要援護施設を記入した災害時に活用できる防災マップの作り方を学びます。
16時～17時	ロープワーク（長崎市消防局）	自主防災組織の必要性と結成の仕方 地域での訓練の実施方法、質疑応答・意見交換（長崎市防災危機管理室）
	自分の命を守るため、救出するときのロープの活用方法を学びます。	自主防災組織の結成方法、また自分の地域での訓練計画の立て方を学びます。 修了証交付

- ◎ 時間割は、講師の都合や災害の発生状況により変更することがあります。
- ◎ この講習の「市民防災リーダー」は長崎市長が認定する「長崎版の防災士」です。特定非営利活動法人日本防災士機構が認定する「防災士」ではありません。「防災士」は、認定研修機関における3日間の研修（受講費有料）と救急救命講習を受講し、さらに、「防災士資格取得試験」に合格することで「防災士」として認定されます。